

# 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月24日

事業所名 銚子市児童発達支援センターわかば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ルーム、基準より広いスペースが確保されています。</li> <li>利用人数が多い時はもっとスペースがほしい。</li> </ul>	基準は確保されています。利用人数に関わらず、子ども達の安全を考慮し、活動に応じて机、椅子などを片づけるように改善していきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の特性により困難になる時あり。</li> <li>おおむね4対1が難しい事あり。</li> <li>配置数は適切だが、個別対応が必要な子どもがいるので手が足りません。</li> <li>配置基準は守られているが利用児によっては、個別での対応が必要であり、実状として職員の配置を増す必要がある。</li> <li>その日の利用児童数は全職員が把握できる状況となっています。</li> <li>職員の病欠の時、人手が足りないと思う。あと1人いるとスムーズに回ると思う。</li> </ul>	配置基準は満たしていますが、個々に応じた支援をするため、来年度1名非常勤を増員予定です。また、職員のスキルアップのため、専門職による研修や直接指導をさらに進めていきたいと思っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由遊びは、マット・個別課題、クラス活動は机と目で見えてわかるように工夫している。</li> <li>昨年4月より少しずつ、各指導室が必要に応じて構造化し、お子様にとって分かりやすい工夫をしています。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な感染対策を、きちんと行っております。</li> <li>毎日、消毒・清掃していて、いいことだと思う。</li> </ul>	
事業改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝と帰りのミーティングでは、全職員参加し、より良い業務を目指しています。</li> <li>月1回の全体会議、各クラス会議を定期的実施しています。</li> </ul>	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の皆様からのご意見を大切に業務にあたっています。</li> </ul>	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページより、確認することができます。</li> </ul>	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター内での様々な研修を実施し、参加しています。</li> <li>その他、WEBでの研修に積極的に参加しています。</li> </ul>	来年度は、職員に研修計画を立ててもらい、計画的に全職員に研修に参加してもらう予定です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・心理師による行動観察を実施しています。 ・保護者の方と面談させてもらい、計画の作成にあたっては。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・心理師が必要に応じて言語検査を行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・アセスメントについて話し合う機会が増えた。 ・計画作成にあたっては、職員間で話し合い、日々の療育に活かしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・朝のミーティングで、各ルームでは、活動内容や目的を報告しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・設問14に同じ。 ・週に一回のPT指導のもと、集団プログラムを変えています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	8	0	・個別支援・クラス活動・生活支援と一人一人に合わせた支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・設問14に同じ。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・帰りのミーティングで全職員で共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・サービス提供記録や療育日誌にて支援向上につなげています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・面談もしくは、電話にて行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	・担当職員が行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	・地域の保健師やコンシェルジュとの連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・保護者の同意の元、行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	・保育所等訪問支援で幼保と情報共有しています。 ・支援学校と支援内容について話をする機会がもう少しほしい。	就学前に実施している内容を充実させていきたいと思います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	・研修に行った職員が報告し、共有している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8	・新型コロナウイルス感染症の流行により現在交流は行われていません。 ・以前は行っていた。 ・コロナ禍により、以前はあったが、なくなっている。	併用をされていないお子様については、保護者様のニーズをお聞きしながら進めていきたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	0	・子ども子育て支援会議に参加させてもらっています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・送迎の際に、日々の様子を伝え合い、家庭での様子を聞き、支援に繋げています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	0	・今年度から家族支援プログラムの一環として心理師による心理相談を行っています。		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・施設見学や、契約の際に利用者負担のお話はさせて頂いております。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	・保護者の方には必ず確認して頂き、同意をいただいています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	・できるだけ助言させていただき、心理相談へのアプローチをさせていただいています。 ・送迎時に、お子様の様子等で保育士とコミュニケーションをとり状況によって、自発管、心理師に相談するようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	・コロナの状況を考慮し、今年度は1度だけの開催となりました。	感染状況を考慮し、回数は、保護者様のニーズをお聞きしながら進めていきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・早い対応を心がけ、療育にあたっています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	・月に1度程度、お子様の様子を写真でお渡ししたり、行事等はマチコミでアナウンスさせていただいております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・十分に注意して対応させていただいております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5		行事・避難訓練など検討したいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	・避難訓練を行っております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	・設問41と同じ。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	・契約の際、確認させていただいております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	・利用前に、必ず診断書の提出をお願いしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・会議の際、全職員が周知し、共有しております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・月に一度、研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。